【社外秘：発表日まで】

MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

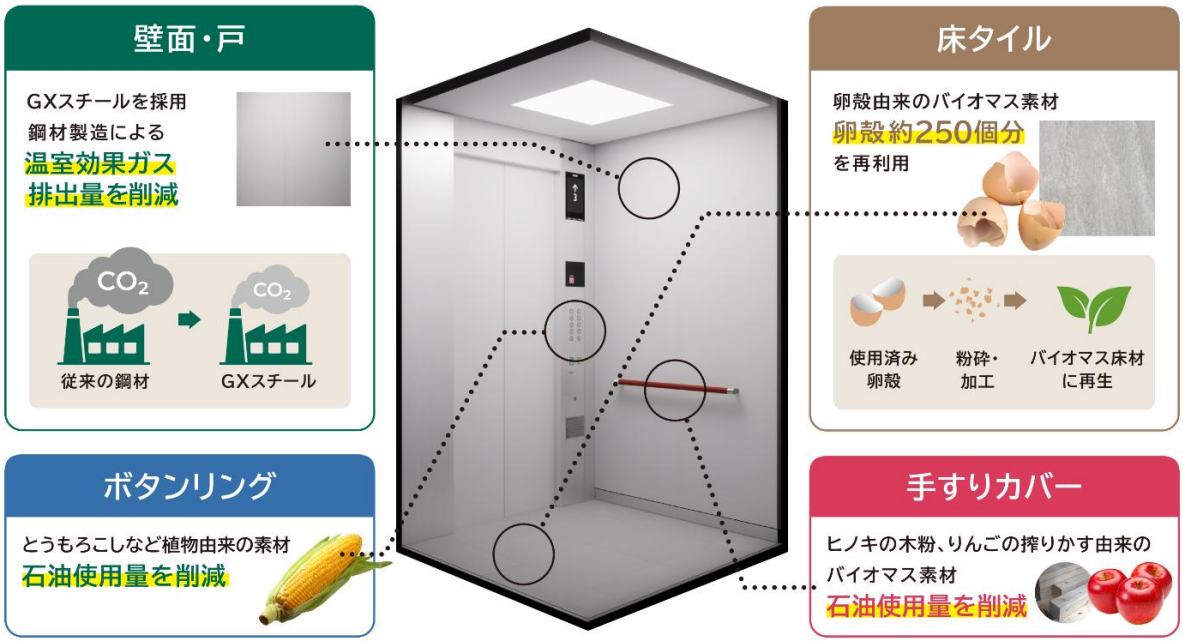
NEWS RELEASE

2026 年 9 月 29 日
三菱電機ビルソリューションズ株式会社

標準形エレベーター「AXIEZ-LINKs（アクシーズ・リンクス）サステナブルパッケージ」を発売

エレベーターのライフサイクルを通じて、建築物の脱炭素化や資源循環に貢献

三菱電機ビルソリューションズ株式会社（取締役社長 織田 巖、本社：東京都千代田区）は GX スチール（Green Transformation Steel）※1やバイオマス素材※2など、環境に配慮した素材を採用した標準形エレベーター「AXIEZ-LINKs サステナブルパッケージ」を 2026 年 10 月 2 日に発売します。また、保守サービスにおいては資源循環の取り組みとして、従来は廃棄していた部品を再利用する「リマニファクチュアリング※3」を進めます。当社は、環境負荷の少ない材料をエレベーターの部材に採用することで、エレベーターのライフサイクルを通じて建築物の脱炭素化や資源循環に貢献します。



環境に配慮した素材を採用した「AXIEZ-LINKs サステナブルパッケージ」のかご内イメージ

近年、建築物には、使用時の省エネルギー性能に加え、資材調達から製造、保守、廃棄などに至るまで、ライフサイクル全体での環境負荷低減が求められており、2028 年度からは建築物のライフサイクルカーボンの評価を促進する制度の導入が検討されています※4。

こうした状況の中、当社は標準形エレベーター「AXIEZ-LINKs」に使用する素材を見直すことで、エレベーターのライフサイクル全体で環境負荷低減を推進します。エレベーターの製造においては、GX スチールとバイオマス材料を採用しました。保守サービスにおいては、2026 年 4 月から、従来は廃棄していたプリント基板を回収し、必要な部品交換や性能確認を行ったうえで、「リビルト部品」として保守サービスに活用しています。現在は、乗場の階数などを表示するインジケーター基板を対象としていますが、今後は対象をメイン制御基板などにも順次拡大し、「リマニュファクチュアリング」の取り組みをさらに推進します。

今後も当社は、製品製造時の素材の見直しと保守サービス部品の再生活用を両輪として、温室効果ガス排出量や廃棄物の削減、保守部品の安定供給に取り組みます。製品と保守サービスの両面から環境に配慮した昇降機ソリューションを展開し、持続可能な地球環境と社会の実現に貢献します。

※1：製造工程における二酸化炭素などの温室効果ガス排出量を削減した、環境負荷の低い鉄鋼材料
※2：植物や動物など、生物由来の原料からつくられる材料
※3：使用済みの製品・部品を、分解・修理・交換等によって、性能・品質を再生する工業プロセス
※4：国土交通省「建築物のライフサイクルカーボンの算定・評価等を促進する制度に関する検討会」中間とりまとめ資料（令和 8 年 1 月 28 日公表）

新製品の特長

標準形エレベーター「AXIEZ-LINKs」にサステナブル素材を採用

・建築物の新築・更新時に、サステナブル素材を採用したエレベーター設備を導入することにより、建築物のライフサイクル全体での環境負荷低減に貢献
・かご室の壁面や戸の化粧鋼板に GX スチールを採用し、温室効果ガス排出量を削減
・石油由来資源の使用量削減につながるバイオマス素材を活用した床タイル、手すりカバー、ボタンリングを採用
・サステナブル素材を採用するとともに、かご室の壁面・戸・床タイルに新たなデザインを取り入れ、建物空間に調和する意匠性を実現

環境配慮素材の採用による環境面への効果

部材	環境面での特長
かご室の壁面・戸の化粧鋼板	GX スチールの採用により、鋼材の製造に由来する温室効果ガス排出量を鋼材 1 トンあたり約 2.7 トン削減
床タイル※	バイオマス素材の採用により、約 250 個分の卵殻を再利用
手すりカバー※（エコグリップカバー）	ヒノキの木粉もしくは、りんごの搾りかす由来のバイオマス素材の採用により、石油使用量を削減 （当社従来仕様と比較し、ヒノキの木粉の場合は 70%減、りんごの搾りかすの場合は 25%減）
ボタンリング※	植物由来のバイオプラスチックにより、石油使用量を削減（製品中の総炭素量に占める生物由来炭素量の割合を示すバイオマス度は 38%）

※P 型（乗用）11 人乗りエレベーター1 台での参考値です

かご室の新デザイン

かご室のイメージ「P 型（乗用）15 人乗り、 R 型（住宅用）9 人乗り）

壁材・戸
（左からナチュラルウォルナット、ブラックオーク、サンディーホワイト）

床タイル
（左からストーングレー、ストーンブラック、ストーンホワイト）

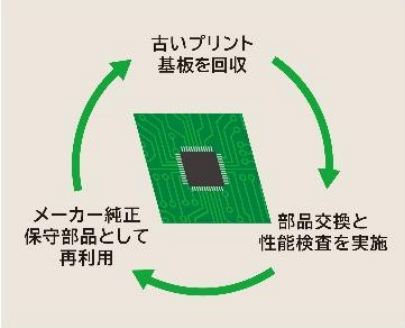
製品概要

製品名	概要	販売価格	発売日
AXIEZ-LINKs サステナブルパッケージ	・GX スチールやバイオマス素材を採用 ・壁面・戸・床タイルに新デザインを導入	個別見積	2026 年 10 月 2 日

保守サービスにおける資源循環の取り組み

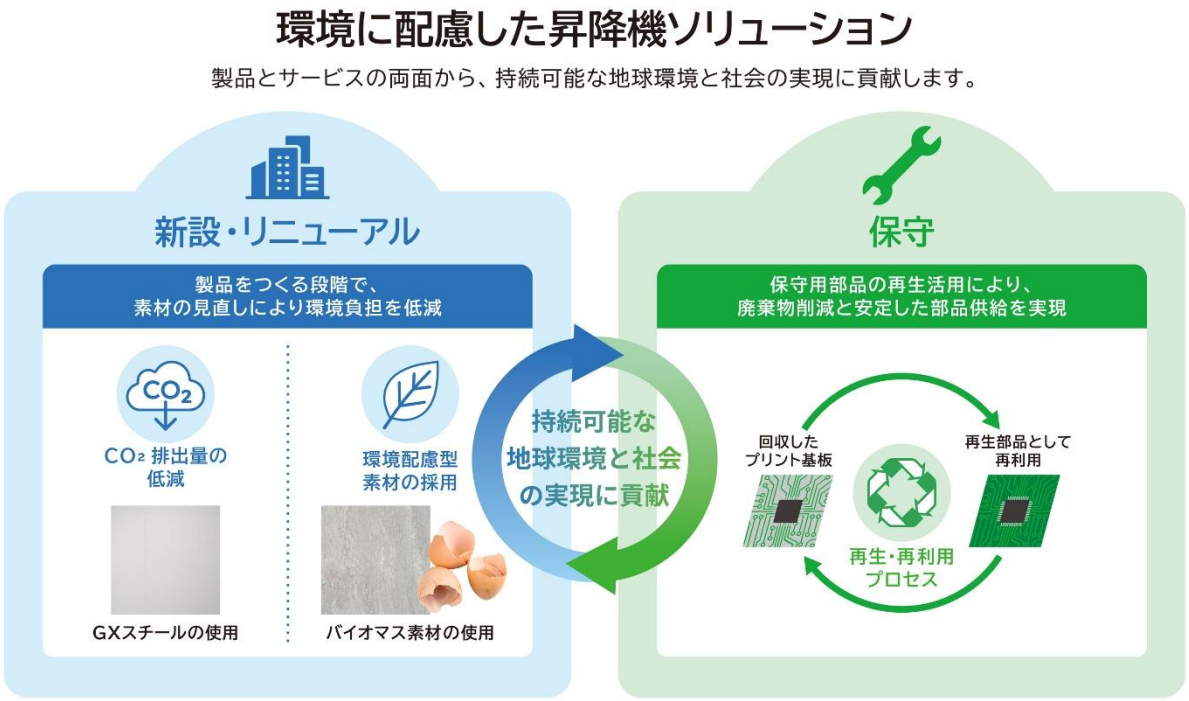
エレベーターのプリント基板を再生し、保守部品として活用

・エレベーターに使用されているプリント基板の再生技術を開発
・2026 年 4 月から、従来廃棄していたエレベーター乗場インジケーターのプリント基板を回収し、必要部品の交換および性能確認を行ったうえ、「リビルト部品」として保守サービスに活用
・今後、「リビルト部品」の対象を順次拡大予定
・廃棄物削減による環境負荷低減を図るとともに、保守部品の安定供給を両立することで、持続可能な社会の実現に貢献



環境に配慮した昇降機ソリューションの取り組み

当社は、環境に配慮した素材の採用と、「リマニュファクチュアリング」による部品の再生・再利用を通じて、建築物の脱炭素化、資源循環、廃棄物削減など、エレベーターのライフサイクル全体における環境負荷の低減に取り組みます。今後も、製品と保守サービスの両面から環境に配慮した昇降機ソリューションを展開することで、持続可能な社会の実現に貢献します。



商標関連

「AXIEZ-LINKs」は三菱電機株式会社の登録商標です。

三菱電機ビルソリューションズについて

三菱電機ビルソリューションズ株式会社は、ビルシステム事業における開発・製造から保守・リニューアルまで一貫した事業運営を行う、2022 年 4 月に設立した三菱電機の連結子会社です。昇降機（エレベーター・エスカレーター）、空調・冷熱機器、ビルシステムなど多彩なビル関連製品・サービス群とビル運用管理の豊富な経験、さらに先進のデジタル技術を掛け合わせた統合ソリューションをワンストップで提供するビルソリューションプロバイダとして、社会インフラを支えています。ビルからビル群、そして都市へと、スマートシティの実現に向けて、人と社会に寄り添ったさまざまな課題解決を通じ、ビル・都市空間における人々の豊かな暮らしに貢献します。

お問い合わせ先

＜報道関係からのお問い合わせ先＞
三菱電機ビルソリューションズ株式会社　コーポレートコミュニケーション部
〒100-8335　東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号
TEL 03-6206-5030　https://pages.mebs.co.jp/mediaform-input.html

＜お客さまからのお問い合わせ先＞

三菱電機ビルソリューションズ株式会社 日本事業統括本部
〒100-8335 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号
https://www.MEBS.co.jp/contact/form_products_solutions.html